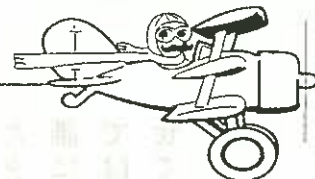


今日のテーマ

経営者の保険について



\* 今回は、基本に立ち返り経営者の保険の加入の必要性を検討しましょう。

万一のことは、予測不可能

うちの会社はリスクとは無縁だよ！！

どんなに順調な経営をおこなってる会社でも、経営者の万一の場合を予測することは不可能です。

企業の「顔」である経営者の不測の事態には、金融機関・取引先との関係が弱くなることも考えられ、事業の継続が困難になる可能性もあります。

取引会社の撤退

給与支払が滞る

債務の一時的返済不能

信用力低下 = 一時的に融資が滞る

業績が悪化しても企業の社会的責任は変わりません

経営が苦しくて、リスク回避に備える余裕はない

取引先や従業員、そして家族に対する責任は、どのような状況でも変わりません。

不足の事態が起きても、事業を継続していける資金準備が必要です。

事業保障の必要額をもとにしたリスクに対する備えを！！

経営者の万一のリスクに備えるには、一般的に生命保険が選ばれています。

保険料には損金算入可能なものもあり、税制面でも優遇されています。

【企業防衛対策の必要額】

事業保障 準備資金	=	借入金相当額 × 2	+	従業員の年間 給与の準備額		
+						
死亡退職金 準備資金	=	最終報酬月額	×	役員通算在任年数	×	役位別倍率 (*)
+						
弔慰金 準備資金	=	最終報酬月額	×	36ヶ月 または 6ヶ月		

(\*) 役位別倍率例/会長：3.0 社長：3.0 専務：2.5 常務：2.3 取締役：2.0

リスク回避のために保険加入しても、必要な時に保障がないのでは意味がありません  
不測の時、本当に頼れるは保険かどうか、しっかりチェックしましょう

今回は経営者の保険加入目的とはなにか？を取り上げてみました。  
実際にご自身のケースに置き換えて考えてみるとよいでしょう。  
生命保険の有利不利や損得勘定をすることは、なかなか難しいものです。  
具体的なご相談に応じますので、お気軽にお声をかけてみてください。



担当 渋木 洋子